

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）



公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 発達サポートセンターつむぎ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		限られた空間を広く使えるようにパーティションや机を用いて物理的構造化を行っております。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		・基準となる人員以上の配置を心掛けている。・活動や行事内容に合わせてシフト変更を行っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	57%	43%	水道を使う際の台が簡易なので、もう少し安定したものの方がいいかもしれません。	入り口やトイレはバリアフリー化されている。手洗いの位置が高いため、安定した踏み台に変更させて頂きます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎日朝礼で行っている。	毎日の朝礼の他に、職員会議やケース会議などを行い、療育の質を確保したうえでの業務改善に努めています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	毎年アンケートを実施している。	・貴重なご意見を職員間で情報把握し、業務改善を行える箇所は協議の上、改善につなげている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	担当者が行っている。	・ホームページの「法人案内」にてご案内させて頂き「法人概要」にて公開させて頂いている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者委員会の設置は至っていませんが、連携している機関や有識者からの評価を基に業務改善を行っている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月1回の研修があり、そこで改めて気付く点も多くある。	・定められた研修のほかにも、療育技術の向上に関する研修を行い、職員全体で学びを深めている。定期的に研修の機会を設け職員が定期開催している研修以外にも療育技術の向上に関する研修を行う事で職員の資質向上に役立てている。分からない点においても質問が出来る環境を整えている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	担当者がアセスメントを行いその後話し合いをしている。	保護者様との会話やご利用者様との会話、又頂いた心理検査等で得たニーズや課題をもとに個別の支援計画の案を作成し、その後職員間で会議を行った上で個別の支援計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		事業所内で共有しているアセスメントツールを使用し、個々の特性や状況を鑑みて作成しております。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	毎月会議を開催している。	毎月スタッフ会議や療育会議を行い、その場に職員それぞれが案を持ちよりチームで立案を行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	毎月会議を行い、リニューアルしている。	ご利用者様のリクエストも大切しつつ、過去のプログラムと見比べ固定化しないように気を付けたり、内容に変化を付けるように気を付けている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	長期や休日は集団活動を取り入れている。	療育時間やその日のご利用者様の状況に応じて課題設定を行っている。長期休暇にはイベントを開催している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	一人ひとりに合わせ、適切に行っている。	保護者様とのモニタリングを終えた後、職員でご利用者様ごとの個別課題と集団での関わり方などの意見を出し合い、個別支援計画を作成している。
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日朝礼を行い、共有している。	日々の朝礼やスタッフ会議においてご利用者様お一人おひとりの現在の状況、保護者様の状況、ご利用曜日の他のご利用者様との関係も考慮にいれながら当日の内容や役割分担について確認を行っている。	

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終礼という形ではできていないが、清掃時等に共有し、個人ノートに職員が記録し振り返りを行っている。	当日ご来所頂いたご利用者様ごとに個別支援計画書に基づいたノートを作成しており、職員全員で記入を行うことで情報共有を行っている。又、当日気になったご利用者様の様子を職員で確認を行い、保護者様にお伝えしたほうが良い点などの振り返りを行うことでも情報共有を行っている。これらを踏まえて次回への療育に繋げている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	一人ひとり、個人ノートに記入したり、ヒヤリハットも記入したりしている。	ご利用者様ごとに個別支援計画書に基づいたノートを作成し、当日の職員全員で様子を記録に取り、又保護者様で気になった方に対してもその様子も記録に取っている。これらを踏まえて朝礼時に当日の職員全員で共通理解をし、支援の検証・改善を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に一度行っている。	半年に1度のモニタリングにおいては、まず、個別支援計画に基づいて作成されたノートを見ながら職員一人ひとりが振り返りシートに記入し、その後児童発達支援管理責任者は職員が記入したシートを見て、モニタリングの用紙を作成する。振り返りシートは職員全員に計画の見直しについても記入を求めているのでそれらを踏まえて保護者様とお話し、全体を考慮に入れた上で保護者様と一緒に計画の見直しの必要性や判断を行っている。個別支援計画を立案する際には、ご利用者様の将来の選択肢を増やすことと保護者様の不安感が少しでも減ることを考えて見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%		児童発達支援管理責任者がガイドラインの読み合わせを行い、支援の基本活動を意識して利用者様と関わるよう、全職員に周知しております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		職員全員が当該児童の日々のノートを見直しながら会議の資料を作成し、最後に児童発達支援管理責任者がそれらを改めて確認し、分からない箇所についてはそれぞれの職員への聞き取りを行いながら、会議資料を作成する。ご利用者様自身だけのことであれば職員が会議に出席することが妥当であると考え、モニタリングは児童発達支援管理責任者が行っている、保護者様の様子まで把握できているという意味において全ての担当者会議に児童発達支援管理責任者が参画を行っている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	LINEや電話で行っている。	・学校行事予定は可能な限りHPや市役所に連絡をとることで情報を得るように努めている。ご来所時間やご帰宅時間に関しては、前日に各保護者様と連絡をとらせて頂くことで連携を取らせて頂いている。連絡調整につきましては、児童発達支援管理責任者が必ず対応し、職員で協議共有を行い、対応策を迅速、誠実に行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%		保護者様や主治医から要望がある際は、連携体制の構築を致しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		可能な限り情報共有及び相互理解を行っている。難しい場合は、以前通われていた施設の個別の支援計画を保護者様にお持ちいただく事で、出来るだけ繋がった支援を継続出来るように努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		卒業後もスムーズに新しい環境に慣れて頂けるように、ご利用者様の意向や保護者様の意向を踏まえた上で職員会議を行い、新事業所様に対して細かく引き継ぎを行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		市が行っている事業所交流会や障がい児通所支援事業所連絡会に参加をしたり、学会に参加し出来るだけ新しい情報を取り入れ療育に活かせるようにしている。また、心理検査(WISK-V・K-ABC2)を求める保護者様に対しては、一般社団法人LITTO-LABO様と協力させて頂き、検査結果を保護者様とも連携し事業所の療育に活かしている。

関係機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		個人情報の観点からこれまで地域の子どもの交流は特にございませんが、今後は保護者様の意向もお伺いした上で、検討したいと存じます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%		現在、「茨木市障害児通所支援事業所連絡会」の会長をさせて頂いており、この会議に毎回参加しております。また時に「茨木市障害福祉サービス事業所連絡会」の研修会にも参加させて頂いております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	お迎えに来て頂いた際に保護者様から聞き取りを行っている。	保護者様とは連絡帳のやり取りを行い、さらにご利用者様のお迎え時に保護者様に対して当日のご利用者様の状況や様子等をお伝えしている。又、保護者様のお困りごと等をお聞きした際には、職員で共有し、連携して課題解決に取り組んでいる。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	ペアレントトレーニングまでではないが、当事業所で取り組んだことを家庭でも継続してもらえるように伝えている。	モニタリングやご利用者様の送迎時又、連絡帳を通して助言等をお伝えしている。又、困りごとに対しては、職員全員で共有し対応策を考えた上で出来るだけ迅速に対応している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	担当者が適切に伝えている。	契約時や変更時又、モニタリング時において出来るだけ分かりやすく丁寧に説明をさせて頂いている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	できる限りその場でお伝えし、できなかった際は後日お伝えしている。	相談を頂いた際には、職員はまずは丁寧に傾聴させて頂き、出来るだけ迅速に対応出来るように努め、課題解決に取り組めるように尽力している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		個人情報の観点からこれまで父母の会等は開催したことはございませんが、必要性がある際は、児童発達支援管理責任者が仲介となり、お互いの保護者様に了解を得たうえで紹介をさせて頂きたいと存じます。放課後等デイサービスを卒業した後、当事者様が集える会に促している方もいる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	速やかに対応し記録を付け共有している。	どの職員もまずは丁寧に聞き取りを行い、児童発達支援管理責任者に報告を行う。その後、早期の問題解決を行う為に、全職員で話し合いを行い適切に対応させて頂いている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月、月間スケジュールを発行したり、LINEで伝えたりしている。	2024年1月よりHPをリニューアルさせて頂いており、活動概要や行事予定、連絡の情報、自己評価表の結果等を発信している。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		個人情報が掲載されている資料や個人ファイルに関しては、鍵が閉まる戸棚に保管し、PC環境もUTMやウイルスソフトさらに第3者機関に定期的にチェックを行って頂いている。又、職員に対しても施設のPCにはUSBメモリなどを差さないように常日頃から伝えている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		コミュニケーションが苦手なご利用者様に対しては、絵カードや写真カードなどを使用する等の対応を行っている。保護者様におかれましては、モニタリング時に丁寧にお聞きするように心がけ、ご希望があれば、送迎時やお時間が作れない保護者様に対しては電話で対応するなどさせて頂いている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		個人情報の観点からこれまで地域の方との交流は特にございませんが、今後は保護者様の意向もお伺いした上で、検討したいと存じます。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		マニュアルはそれぞれの対応事を作成しており、毎年見直しをかけ、研修時や訓練時に職員全員に周知を行っている。保護者様に対しては契約時にお伝えさせて頂いている。今後はHPに掲載できるよう努めます。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	毎月、避難訓練を行っている。	ひと月に1回ご利用者様と実施させて頂いている。保護者様には訓練を行う際には事前にお知らせを行い、当日来所されるご利用者様がパニックにならないように配慮を行った上で実施し、保護者様にその日の様子を連絡帳や送迎時にご報告させて頂いている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に数回、研修があったり毎日朝礼で声掛けを行ったりしている。	毎年虐待防止研修を実施している。又、日々の朝礼の中でご利用者様で気になったこと等を職員同士で話し合いを行い、療育に入る前に必ず虐待には気を付けるように児童発達支援管理責任者から声掛けを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		毎年、身体拘束の研修を実施し、身体拘束を行わないでよい対応を目指している。身体拘束が必要な利用者様には、組織的に決定し、保護者様には丁寧に説明し、個別支援計画に掲載させて頂いている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギー表を作成し、なるべくその食材を使わないようにしている。	アレルギー表を作り、おやつやクッキングを実施する際に職員で確認を行い、また保護者様にも前日利用確認の際に都度確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	気付いたらすぐに記入している。また、職員の机の中心に置き、いつでも見られるようにしている。	ヒヤリハットを作成し、職員全員がいつでも閲覧できるようにしており、朝礼にて事案を共有し再発防止に役立てている。